

平井まち子



<http://www.55machiko.jp>

平井まち子 検索



「元気・長田」「元気・神戸」に直球を投げてます！

目的不明のパフォーマンスや、足のひっぱり合いばかりの政治では誰も幸せを実感できません。あくまで自分の生きる地域での実感、お聞きした生の声を市政に反映するために

これからも「恐れず、先送りなしの日々直球勝負！」を応援してください！

平成24年第3回定例会

2012年9月18日～10月25日

平成23年度決算などの議案の審議を行う第3回定例会が開会され、平井は決算特別委員会の局別審査と、総括質疑に登壇いたしましたので、報告いたします。

医療産業の事業化の推進について

問 地元企業も医療産業都市の経済効果を実感できるよう、PMDAの事前相談チームづくりや医療機器の産業化のプロジェクトを早期に実現させられるのか。また縦割でなくプロジェクト単位での戦略的な予算編成が必要ではないか。

答 先端医療振興財団が中心となり、PMDA職員を迎えた再生医療を中心とした薬事戦略相談を10月末に神戸で実施するよう調整している。プロジェクトの予算の明確化については、企画調整局医療産業都市推進本部を中心に事務局体制を組み、対応していく。

新長田南再開発ビル群の管理問題について

問 アスタビル群では管理の改善を求めているが、新長田まちづくり株式会社からの提案内容が物足りないものであれば、区分所有者集会でも否決の方向になるのでは。神戸市は議決においてどのような立場に立つのか。また「にぎわいづくり意識調査」を実施したが、市や会社に対する不信感が大きく、回収が順調でないという。真に商業者の声を具体化したプロジェクトにするため、どのような取り組みを進めていくのか。

答 ①現在の管理費についての詳しい説明、②項目ごとに必要と思われる管理レベルについての説明、③競争性導入の検討、④全てのビル共通の課題を協議する仕組みづくり、⑤全体の取り組みスケジュールの提示、これらの検討を会社に要請したうえで、提案が集会で承認されることを期待している。にぎわいづくりについては、意識調査を通じて中期的な視野にたった商業業務床の配置の見直しや、テナント誘致を具体化できるよう地元と一体になって進めたい。

神戸市の水道メーター業務に市内業者の参入を

問 かつて水道サービス公社に随意契約で委託してきた水道メーターの検針業務は、競争性をもって事業者選定を行なうよう取り組んできたが、先般は大阪の外郭団体に落札されてしまった。市内業者が参入できる方法を検討中とのことだが、委託範囲をさらに分割するなど、方策を検討すべきではないか。今後公社に残された委託業務は料金未納整理だが、入札を行なうよう検討するのか。さらに今の方向で公社の受注する業務がなくなれば、解散へ計画的に準備することになるのか。

答 市内業者が検針実績のある市外業者とJVを組んでの応募を認めるなど条件を検討し、年末までに決定、公表する予定である。期間満了メーター取替業務についても来年夏にモデル実施を行い検証する。未納整理業務も市内業者参入を検討していきたい。公社の3本柱の各事業は大きな転換期を迎えている。今後の方向性については業務の落札状況や自主事業の展望なども踏まえ、公社職員の雇用問題も考慮し、検討していきたい。

総括質疑

要旨



決算審査をしめくくる総括質疑に平井まち子が会派を代表し登壇しました。

環境局の超過勤務手当の適正化

問 事業所職員による地域行事での啓発活動や自治会への排出指導は大人数が出務し、要する超過勤務手当も看過できない。平成24年の夏祭り関連では1回あたり4.6人出務し、手当はイベント1回あたり約5万円と推計される。啓発や排出指導は意義があるが、出務人数は見直すべきではないか。また主催する市民の側に、出務に要するコストを公表してはどうか。

答 今年度から、休日や時間外の地域行事等への出務は事前にチェックし、出務人数や時間を抑えるようにしている。コストの周知は地域との関係等を考慮して、環境局が主体的に必要性を判断するものと考えている。今後とも効率的な業務の遂行に努めていきたい。

児童虐待防止の視点からの子育て支援

問 こども家庭センターでの相談事例には、虐待した側の年齢や性別・生活の環境などの詳しいデータが少ない。どこに助けが必要なのかを職員も市民も正しく認識するべきでは。虐待の実態に即した啓発が必要と考えるがどうか。また母親が社会から孤立しがちな、閉鎖的な現代の子育て環境に危機感を覚える。子育てふれあい教室や子育てひろばなどに、子どもを持たない方にも参加してもらってはどうか。

答 問題の発生している家庭からより近隣や学校等周辺からの相談が多く、一般市民や関係者への虐待に関する正しい啓発が不可欠である。また「子育てふれあい教室」では子育て経験のある地域の方による学習機会や仲間づくりの場の提供も行っている。今後とも地域の方々とともに保護者と一緒に子育てに取り組める社会づくりを目指していきたい。